

今週の話題：

＜リンパ系フィラリア症撲滅世界計画における病状の管理と障害の予防（WHO 意見報告書）＞

* 病状管理と障害の予防を行う理由：

1997年に、世界保健総会は公衆衛生問題としてリンパ系フィラリア症（LF）の撲滅を決議した。2000年にWHOは、加盟国が2020年までに目的を達成することができるよう、以下2項目を含むLF撲滅の世界計画を打ち立てた。

- ・ 流行地域に住む全ての人々に対して、年1回の集団駆虫薬投与を行うことでLFを引き起こす寄生虫の伝播を阻止すること、
- ・ すでに疾患の影響を受けているヒトに対して病状の管理と障害の予防を行う。

LFによって、世界中で推定4,000万人がリンパ浮腫や、象皮病、あるいは泌尿生殖器疾患（特に男性における陰嚢水腫）といった明らかな臨床的症状を呈している。これらの臨床症状により、590万人のDALY（障害調整生存年数）が低下し、社会的悪影響や生産力の低下がもたらされている。

世界計画は、多くの特定熱帯病（neglected tropical diseases）の予防と治療を行う活動と統合され、これらの疾患や、節足動物媒介性疾患をコントロールするために動いている他のプログラムによって展開された活動の手法を共有している。国家レベルでの撲滅作戦は、伝播が阻止された後であってもLFによって既に影響を受けている人々にケアを提供することを求められている。疾病による様々な臨床的・社会的影響を受けた患者は、医療を受ける権利を有しており、国家レベルの作戦ではこの権利を保証しなければいけない。さらに、集団駆虫薬投与へのコンプライアンスを増やすことで寄生虫の伝播を阻止し、新たな感染を防ぐ努力につなげることも求められるだろう。

* 病状の管理と障害の予防とは？

世界計画はリンパ浮腫、象皮病、および陰嚢水腫に対する障害の予防と病状管理に焦点を合わせている。しかし、乳び尿やリンパ嚢腫、陰嚢リンパ浮腫、熱帯性肺好酸球増多症、腺腫、および血尿のような他の臨床症状に対しては、これらの問題への公衆衛生学的アプローチがまだ確立されていないことより、今後追求していくことが必要である。約1,500万人（そのうちの多くは女性）は、リンパ浮腫や、その進行形である下肢の象皮病をもっている。しかし、それらは急性炎症を防ぐためにも衛生状態の改善やスキンケアを含む簡単な方法を用いて管理しなければならない。他にも、およそ2,500万人の男性が泌尿生殖器疾患、特に陰嚢水腫に苦しんでいる。陰嚢水腫は外科的手術で治す事ができ、患者およびその家族の経済状況と患者のQOLをかなり改善する。

障害とは身体の損傷だけにとどまらず、個人の活動の制限や社会への参加など、特定の機能を制限する事を含む総称である。そのような障害を防ぐために、LFに関連した症状をもつ人々の社会生活・経済活動への復帰を促進するよう、心理学的・社会的支援へのアクセスの必要がある。

* 病状管理と障害の予防を行う目標と目的とは？

病状の管理と障害の予防を行う世界計画の目標は、リンパ浮腫、象皮病および陰嚢水腫を持つ人々の苦痛を緩和し、彼らのQOLを向上させることである。目的はLFが流行している全てのエリアにおいて、リンパ浮腫、象皮病あるいは陰嚢水腫をもつすべての人のために推奨されている、以下のような基本的ケアへのアクセスを提供することである。

- ・ 陰嚢水腫を持つヒトに外科的手術へのアクセスを提供すること、
- ・ リンパ浮腫や象皮病をもつ人々の間で急性炎症の発症を治療すること、
- ・ 急性炎症による衰弱や、痛みの発症、およびリンパ浮腫と象皮病の進行を防ぐこと、
- ・ 残存する成虫およびマイクロフィラリアを破壊するため、抗フィラリア薬を集団投与すること。

加えて、リンパ浮腫を持つ人々は、リンパ浮腫の悪化を防ぐよう生涯にわたって病気を適切に管理するサポートを受ける必要がある。このことより、継続的に管理することが確実にできるよう、WHOによる基準を満たしたプライマリー・ヘルス・ケア・システムを提供しなければならない。

* どのようにして目的と目標を達成するのか？

目標と目的の達成ができるかどうかは、以下の3要因に依存する。

- ・ 国家レベルで国策と戦略を展開させ、民間や学術機関、その他様々な機関および個人と協力関係を作り、連携していくこと、
 - ・ 臨床症状の有症率のデータを組織的に収集し解析、それにより診療ガイドラインを洗練すること、
 - ・ 国策としての医療制度の補強を含んだ、全国および地方レベルの財源と人材の開発。
- 特異的疾患をターゲットとした関連するプログラムからの専門知識および経験の共有を促進することで、上記を有効に遂行することができるだろう。

* 成功のあかつきには？

2020年までに計画が達成されるとするならば、以下のようなになるであろう。

- ・ 国家レベルでの作戦における病状管理および障害予防活動は、すべての流行エリアにおいて地域的に十分な範囲を網羅しているであろう、

- ・ 流行エリアに住んでいる、陰嚢水腫、リンパ浮腫、あるいは象皮病を持つ人々はみな、推奨された基本的治療を受けているであろう、
- ・ リンパ浮腫と象皮病を持つ人々にとって、急性炎症がおこる頻度およびその強度は減少しているであろう。
- ・ 寄生虫の伝播が阻止されたあかつきには、新たなリンパ浮腫、象皮病、および陰嚢水腫の症例は減少しているであろう。

*まとめ：

LFが流行するエリアでリンパ浮腫、象皮病、および陰嚢水腫をもつヒトに推奨される基礎的治療へのアクセスを提供することを目指すことで、世界で最もサービスの行き届かない人々の健康や社会的、経済的状态に良い影響を及ぼすことにより、貧困を緩和する手助けになるだろう。WHOの加盟国には今後、LF撲滅のための世界計画の経験および資源を、似たような疾患をターゲットとするコントロールプログラムと共有することが求められる。すなわち、国民保険制度の一部として統合化されたサービスを提供することによって、疾病を管理し肉体的、精神的、あるいは社会的な障害の進行を防ぐための活動を行うべきである。

<国・地域別 index> (WER 参照)

<86 巻、2011 年、1 号—52 号までの索引> (WER 参照)

(坂本真紀、宇賀昭二、林祥剛)